

医療センターボイラー改修工事

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	《 意匠図 》		《 電気設備図 》		《 機械設備図 》
A-01	表紙・図面リスト	E-01	電気設備工事特記仕様書 1	M-01	機械設備工事特記仕様書 1
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	E-02	電気設備工事特記仕様書 2	M-02	機械設備工事特記仕様書 2
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	E-03	電気設備工事特記仕様書 3	M-03	機械室 詳細平面図(改修)
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	E-04	電気設備工事特記仕様書 4	M-04	機械室 詳細平面図(撤去)
A-05	附近見取図・配置図	E-05	平面図(改修)	M-05	ボイラ仕様(1)
A-06	1階平面図	E-06	平面図(撤去)	M-06	ボイラ仕様(2)
A-07	部分詳細図				
A-08	仮設計画図				

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (5.3.5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 表 4.1) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○ 無し ・ 有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する <p>軽量コンクリートで土に接する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無し ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm <p>耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無し ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm 	⑨ 気乾単位容積質量 (6.2.3)	○ 普通コンクリート (6.2.3)	・ 2.3t/m ³ 程度	3 鋼材	材質等 (8.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> </table>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格等			・ JIS規格による			・ JIS規格による			・ JIS規格による	14 製作精度 (8.12.2)	※ 改修標準仕様書8.12.21による 通しダイヤグラムの許容誤差 ・ ダイヤグラムをH12建案第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・ 「突合わせ溶接の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による ・ 全てのダイヤグラムはH12建案第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること			
	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)		規格等																					
				・ JIS規格による																					
				・ JIS規格による																					
				・ JIS規格による																					
	6 機械式継手	鉄筋相互のあき (機械式継手及び溶接継手を除く) (5.3.5)		○ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)	7 軽量コンクリート (6.10.1)		○ 軽量コンクリート (6.10.1)	種類	・ 1種 ・ 2種	4 高力ボルト (8.1.6) [8.2.9] [8.13.2]	ボルトの区分 (8.1.6) [8.2.9] [8.13.2]	・ トルシア形高力ボルト	セットの種類	・ 2種 (S10T)	15 鉄骨の仮組 (8.12.9)	・ 行わない	・ 行う								
		使用箇所 (5.5.2)		・ 図示による ()			適用箇所 (6.11.1)	・ 図示による ()	高力ボルトの径 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	・ 図示による ()						
		H12建案第1463号に適合する性能 (5.5.2)		・ A級			適用期間 (6.11.1)	・ 図示による ()	高力ボルトの径 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	・ 図示による ()						
		機械式継手の種類及び工法 (5.5.2)		()			適用期間 (6.11.1)	・ 図示による ()	高力ボルトの径 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	・ 図示による ()						
		鉄筋相互のあき (5.3.5)		・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)			適用期間 (6.11.1)	・ 図示による ()	高力ボルトの径 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	・ 図示による ()						
品質の確認方法 (5.5.2)		・ 図示による ()	適用期間 (6.11.1)	・ 図示による ()		高力ボルトの径 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()		・ 図示による ()									
不良となった継手の修正方法等 (5.5.2)		・ 図示による ()	適用期間 (6.11.1)	・ 図示による ()		高力ボルトの径 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (6.11.1)	・ 図示による ()		・ 図示による ()									
7 溶接継手		使用箇所 (5.5.3)	・ 図示による ()	適用期間 (6.12.2)		構造体強度補正値 (6.12.2)	※ 6N/φm	5 普通ボルト (8.1.6) (7.2.3)	ボルト及びナットの材料 (8.1.6) (7.2.3)		・ 標準仕様書 表 7.2.3による	6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (8.1.6) [8.2.9] [8.12.7] (7.12.4)	セットの種類 (8.1.6) [8.2.9] [8.12.7] (7.12.4)	・ 1種 (F8T相当)		18 入熱、バス間温度の溶接条件 (8.14.11)	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 (8.14.11)	・ 図示による ()							
H12建案第1463号に適合する性能 (5.5.3)		・ A級	適用期間 (6.12.2)	構造体強度補正値 (6.12.2)		※ 6N/φm	ボルトの径 (7.2.3)		・ 図示による ()		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)			・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 (8.14.11)	・ 図示による ()				
鉄筋相互のあき (5.3.5)		・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)	適用期間 (6.12.2)	構造体強度補正値 (6.12.2)		※ 6N/φm	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)		・ 図示による ()		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)			・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 (8.14.11)	・ 図示による ()				
品質の確認方法 (5.5.2)	・ 図示による ()	適用期間 (6.12.2)	構造体強度補正値 (6.12.2)	※ 6N/φm	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 (8.14.11)		・ 図示による ()								
不良となった継手の修正方法等 (5.5.2)	・ 図示による ()	適用期間 (6.12.2)	構造体強度補正値 (6.12.2)	※ 6N/φm	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)		・ 図示による ()	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)	・ 図示による ()	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 (8.14.11)		・ 図示による ()								
8 各部配筋	各部配筋 (5.3.7)	・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図))	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.13.1)	・ 図示による ()	7 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)	適用 (7.2.4) (7.10.3)		・ 構造用アンカーボルト	8 溶接材料 (8.2.10)	溶接材料 (8.2.10)		・ 改修標準仕様書8.2.10(a)(b)による	9 ターンバックル (7.2.6)	種類 (7.2.6)		・ 構造用ターンバックル類 ※ 割弁式								
9 圧接完了後の試験 (5.4.9) (5.4.10)	外観試験 (5.4.9) (5.4.10)	※ 行う (全数)	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()						
5.4.9) (5.4.10)	抜取試験 (5.4.9) (5.4.10)	・ 超音波探傷試験	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()						
5.4.9) (5.4.10)	抜取試験 (5.4.9) (5.4.10)	・ 引張試験	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()						
5.4.9) (5.4.10)	抜取試験 (5.4.9) (5.4.10)	・ 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)		・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()						
6 コンクリートの種類及び強度 (6.2.1~6.2.4)	○ 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 18</td> <td>15</td> <td>設備基礎</td> </tr> </table>	設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ	適用箇所		・ 21	15			○ 18	15	設備基礎		適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()
設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ	適用箇所																							
・ 21	15																								
○ 18	15	設備基礎																							
○ 軽量コンクリート (6.2.1~6.2.3) (6.10.1~6.10.2)	<table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ	適用箇所	・				・				適用期間 (6.13.1)		適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	
設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ	適用箇所																							
・																									
・																									
7 コンクリートの類別 (6.2.1)	類別 (6.2.1)	※ I 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()												
8 セメント (6.3.1)	種類 (6.3.1)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 使用部位 ()	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()												
9 骨材 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)	※ A ・ B	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()												
10 混和材料 (6.3.1)	○ 混和剤 (6.3.1)	混和剤の種類 (6.3.1)	適用期間 (6.13.1)	適用箇所 (6.2.1) (6.14.1)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 (7.2.4) (7.10.3)	・ 図示による ()												

亀山市

日付

備考

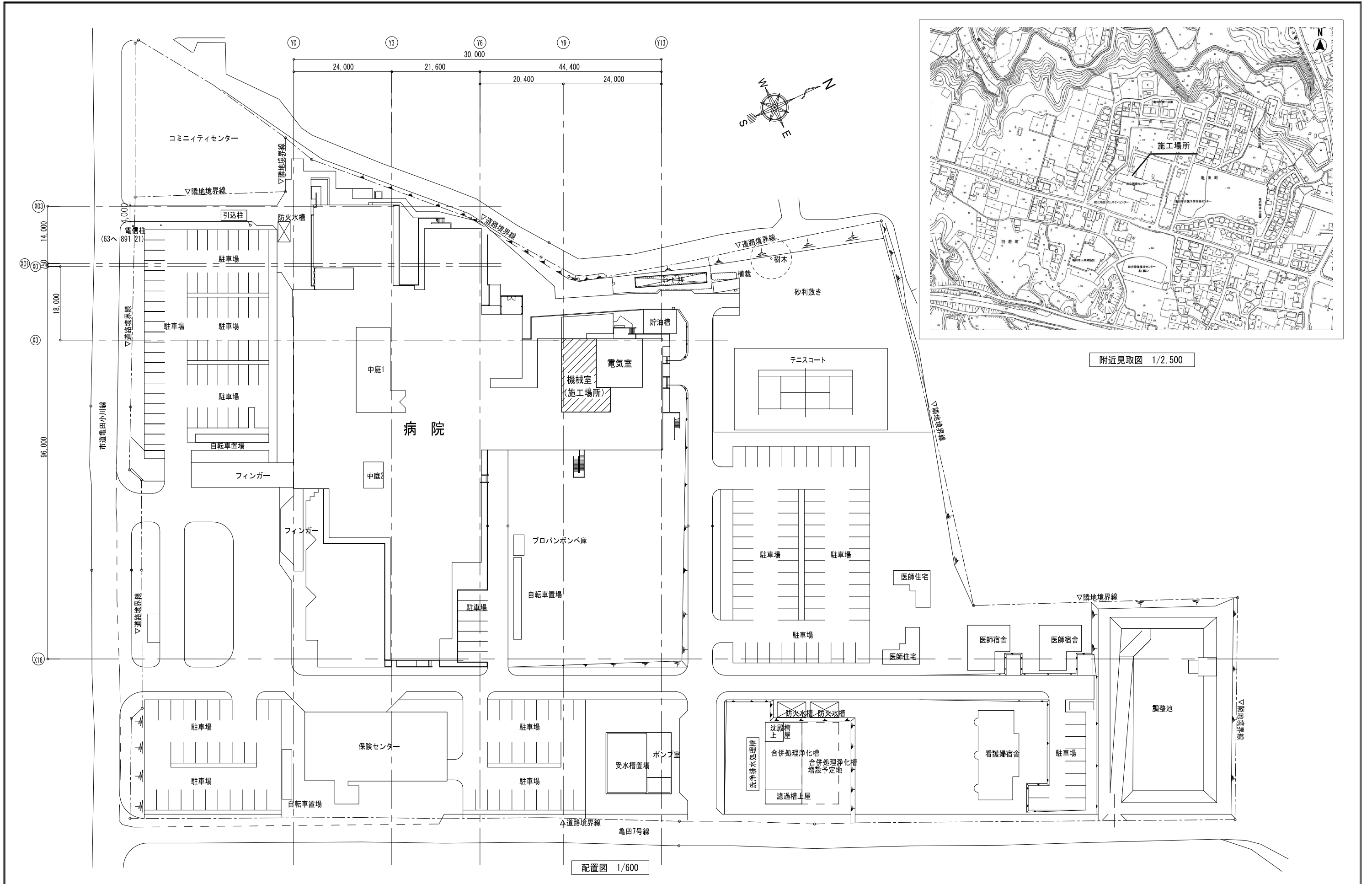
工事名称
医療センターボイラー改修工事

図面内容
建築改修工事特記仕様書 2

縮尺
A2: -

図面番号
A-03

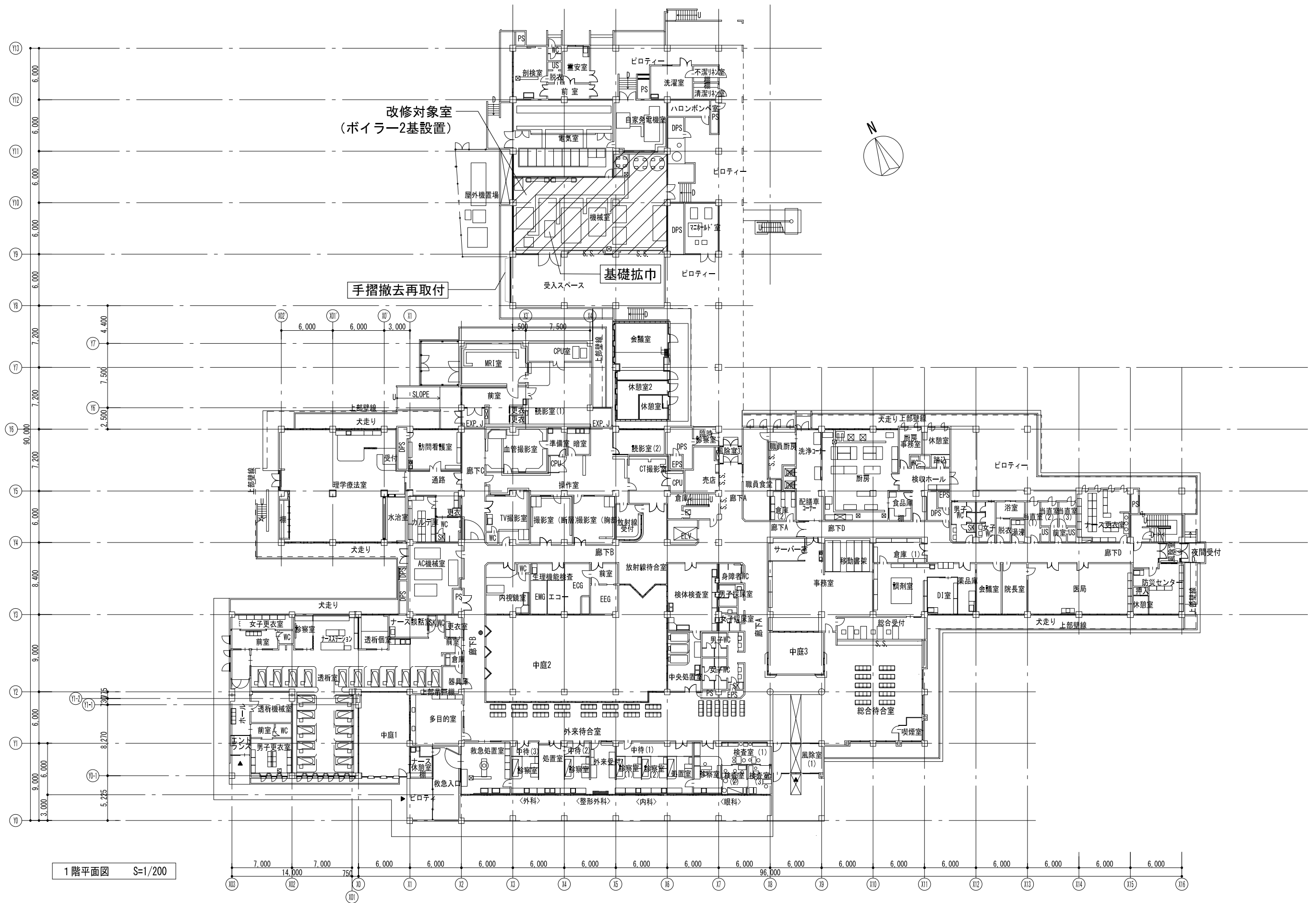
亀山市 排水工事	<あと施工アンカー> 26 あと施工アンカー	材料等 [8.2.4] ・金属系アンカー ・引張耐力 () ・せん断耐力 () セット方式 ※ 本体打込み式改良型 接合部の種類、径、長さ ・ 図示による () アンカー本体の径及び埋込み深さ ・ 図示による () ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ○接着系アンカー ・引張耐力 () ・せん断耐力 () セット方式 ※ カプセル型回転・打撃式 接着剤の品質 ・有機系 ・ 無機系 アンカー筋の種類 ・改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼 アンカー筋の径及び埋込み深さ ・ 図示による () アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示による () ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ()	10 舗装工事	1 路床 (22.2.2、3、5) (表22.2.2) 路床の材料 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○路土</td> <td>・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ☒</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・道断層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュヤラン ☒ ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> </table> 路床安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg (目標ORR ・5以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 ・ 厚さ(mm) ・0.5~1.0 ・ 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ 透水係数 ・1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上 ・ 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない	種別	材料	厚さ(mm)	○路土	・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ☒	・ 図示 ・	・道断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・	・ 図示 ・	・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ☒ ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・ 図示 ・	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・	・ 図示 ・													
	種別	材料	厚さ(mm)																													
	○路土	・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ☒	・ 図示 ・																													
・道断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・	・ 図示 ・																														
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ☒ ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・ 図示 ・																														
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・	・ 図示 ・																														
27 穿孔前の埋込み 配管等の探査 [8.11.2] ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管等の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる ・	2 路盤 (22.2.2、3、5) (表 3.2.1) 路盤の厚さ ○図示 ・ 路盤材料 ・砕石 ○再生クラッシュヤラン ☒ ・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ☒ ・ ・ 図示 試験 路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない	28 施工確認試験 [8.11.5] 試験方法 ※ 引張試験 確認強度 ・ 図示による ()	3 アスファルト舗装 (22.4.2~4) (表 22.4.1.5) アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ 材料 アスファルト ○再生アスファルト ☒ ・ ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 ☒ 加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4) (表22.4.5) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>一般及び寒冷地域</td> <td>粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </table> シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・	区分	地域	種類	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)																		
区分	地域	種類																														
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)																														
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)																														
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)																														
<グラウト> 29 モルタル及び グラウト材 [8.2.6][8.2.11] ・構造体用モルタル ・改修標準仕様書8.2.6による 圧縮強度 () フロー値 () ・改修標準仕様書8.2.11による ・ ○グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 <table border="1"> <tr> <td>混和材</td> <td>セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サル フォ・アルミネート等) によって膨張する性質を利用す るものとする。</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普 通または早強ポルトランドセメントとする。</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を 有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で 使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態につ いては、規定しない。</td> </tr> </table> 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 <table border="1"> <tr> <td>コンシステンシー</td> <td>Jフロードによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒</td> </tr> <tr> <td>ブリージング</td> <td>練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下</td> </tr> <tr> <td>凝結時間</td> <td>凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内</td> </tr> <tr> <td>無収縮性</td> <td>材齢7日 収縮しない</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度</td> <td>材齢 3日 20.0N/mm² 材齢 28日 40.0N/mm²</td> </tr> <tr> <td>塩化物量</td> <td>0.30kg/m³以下</td> </tr> </table> 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モル タル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場 調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形 のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコ ンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」 による。	混和材	セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サル フォ・アルミネート等) によって膨張する性質を利用す るものとする。	セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普 通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を 有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で 使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態につ いては、規定しない。	コンシステンシー	Jフロードによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒	ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下	凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内	無収縮性	材齢7日 収縮しない	圧縮強度	材齢 3日 20.0N/mm ² 材齢 28日 40.0N/mm ²	塩化物量	0.30kg/m ³ 以下	4 コンクリート舗装 (22.5.2~4、6) (表22.5.4) コンクリート舗装の厚さ <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車道部</td> <td>・ 図示 ・150 ・</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td>・ 図示 ・70 ・</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート</td> <td>車道部</td> <td>・ 図示 ・150</td> </tr> </table> 縁部立下り寸法等 ・ 図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.2による ・ 早強セメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 転圧コンクリートの工法 ※図示 ・ 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.4及び図22.5.11による ・ 図示 試験 コンクリート厚さの試験 ・行う ・行わない	舗装の種類	部位	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・150 ・	歩道部	・ 図示 ・70 ・	転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・150	8 1 フェンス フェンスの種類 ○ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ○図示 ・	9 砂利敷き (22.10.1) 種類 ・A種 (施工範囲) ・ 図示 ・道路 ・) ・B種 (施工範囲) ・ 図示 ・建物周囲 ・) (一)
混和材	セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サル フォ・アルミネート等) によって膨張する性質を利用す るものとする。																															
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普 通または早強ポルトランドセメントとする。																															
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を 有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で 使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態につ いては、規定しない。																															
コンシステンシー	Jフロードによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒																															
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下																															
凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内																															
無収縮性	材齢7日 収縮しない																															
圧縮強度	材齢 3日 20.0N/mm ² 材齢 28日 40.0N/mm ²																															
塩化物量	0.30kg/m ³ 以下																															
舗装の種類	部位	厚さ(mm)																														
コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・150 ・																														
	歩道部	・ 図示 ・70 ・																														
転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・150																														
9 1 街きよ、緑石、側溝 (21.4.1) (表21.4.1) 街きよ、緑石、側溝 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>○緑石</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>○上形側溝</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝ふた</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 図示</td> </tr> </table> 地盤の材料 ※標準仕様書 (4.6.2) (a)による ・ 図示 砂利地盤の厚さ ※100 (mm) ・ 図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm ² とする。ただし、コンクリートが築基の場合の割合 (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度とする。 ・ 図示 2 埋戻し土 (21.2.3) ※ B種	種類	形状、寸法	○緑石	・ 図示	○上形側溝	・ 図示	・ U形側溝	・ 図示	・ U形側溝ふた	・ 図示	・	・ 図示																				
種類	形状、寸法																															
○緑石	・ 図示																															
○上形側溝	・ 図示																															
・ U形側溝	・ 図示																															
・ U形側溝ふた	・ 図示																															
・	・ 図示																															



亀山市

日付	備考

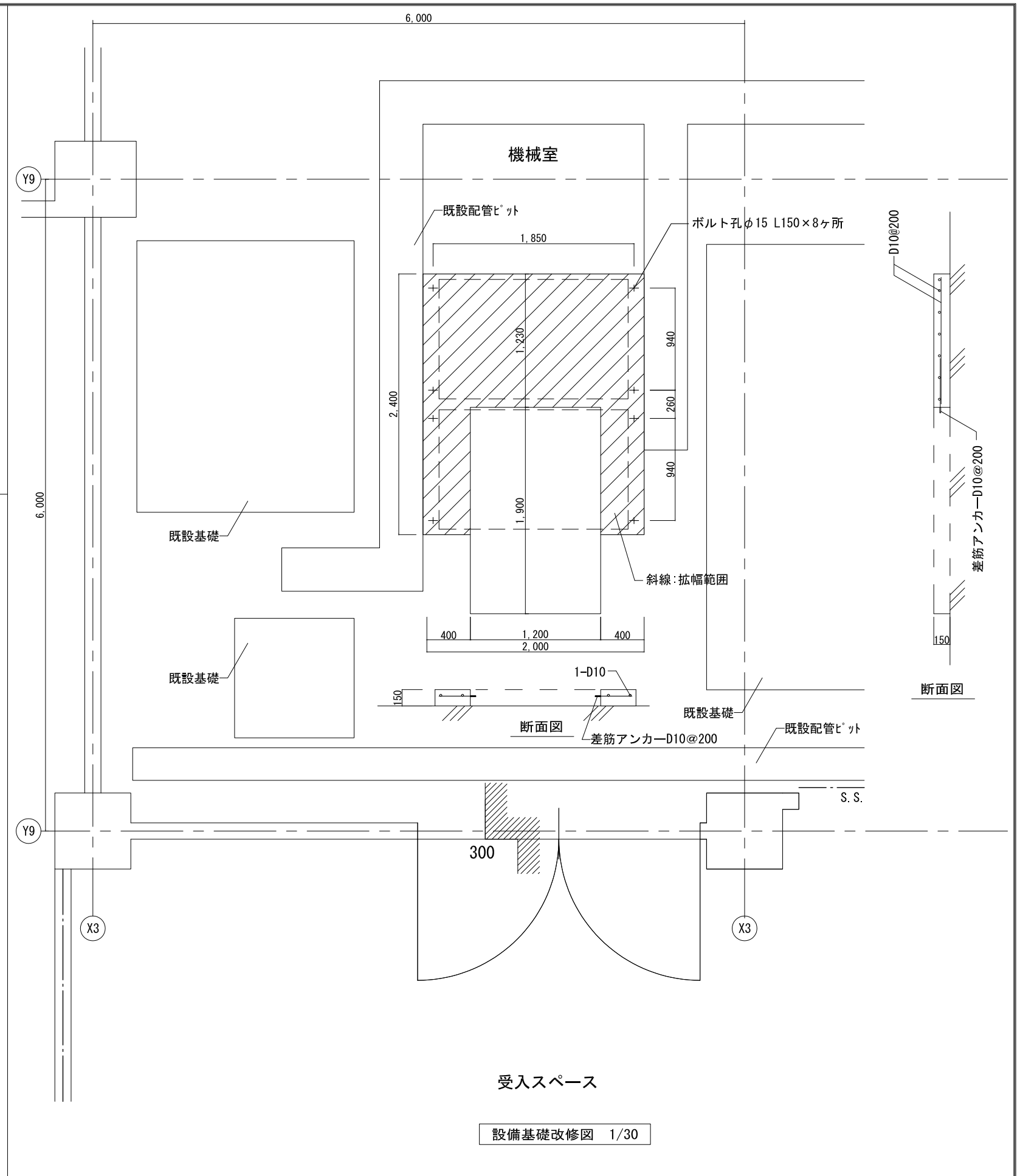
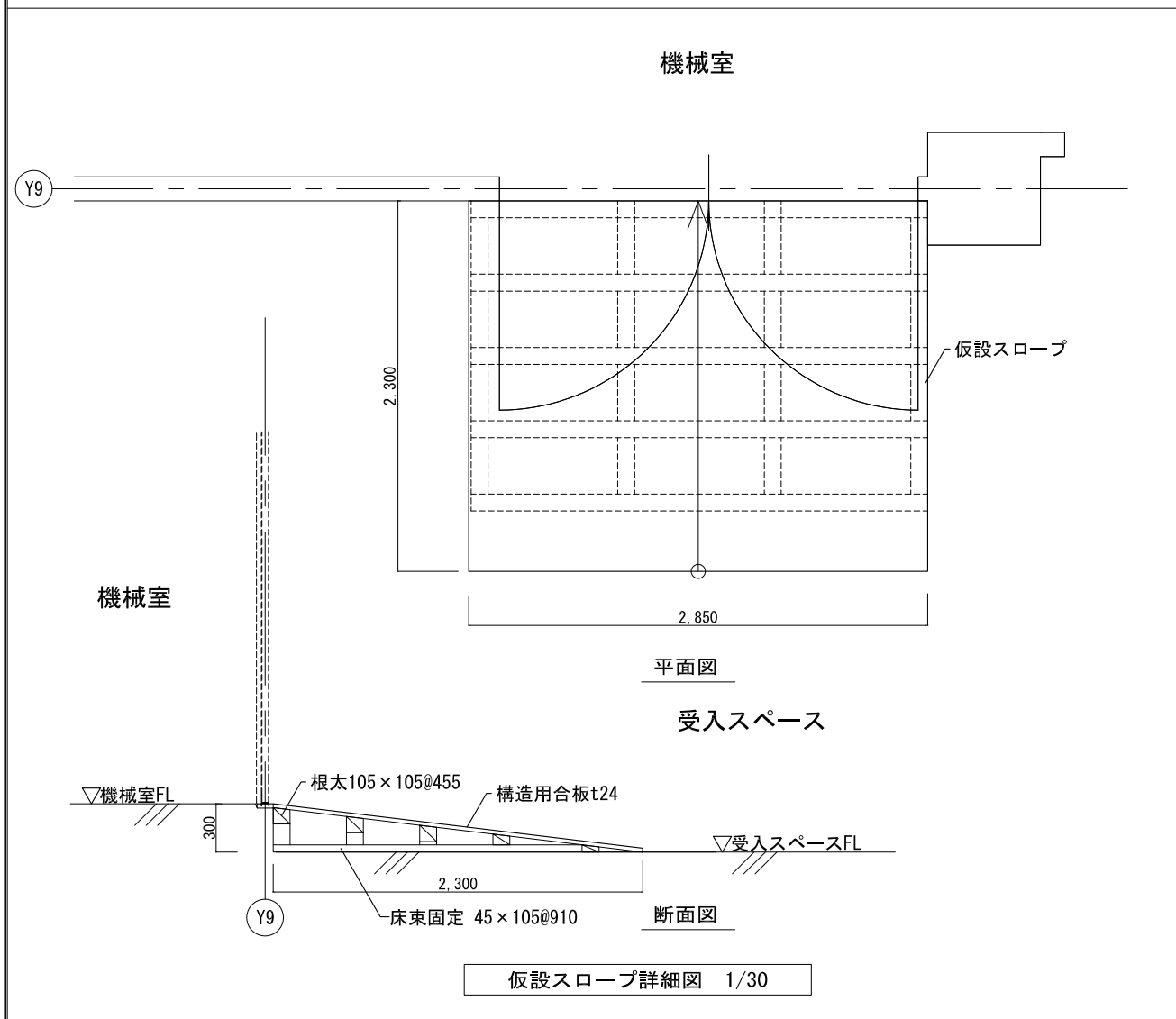
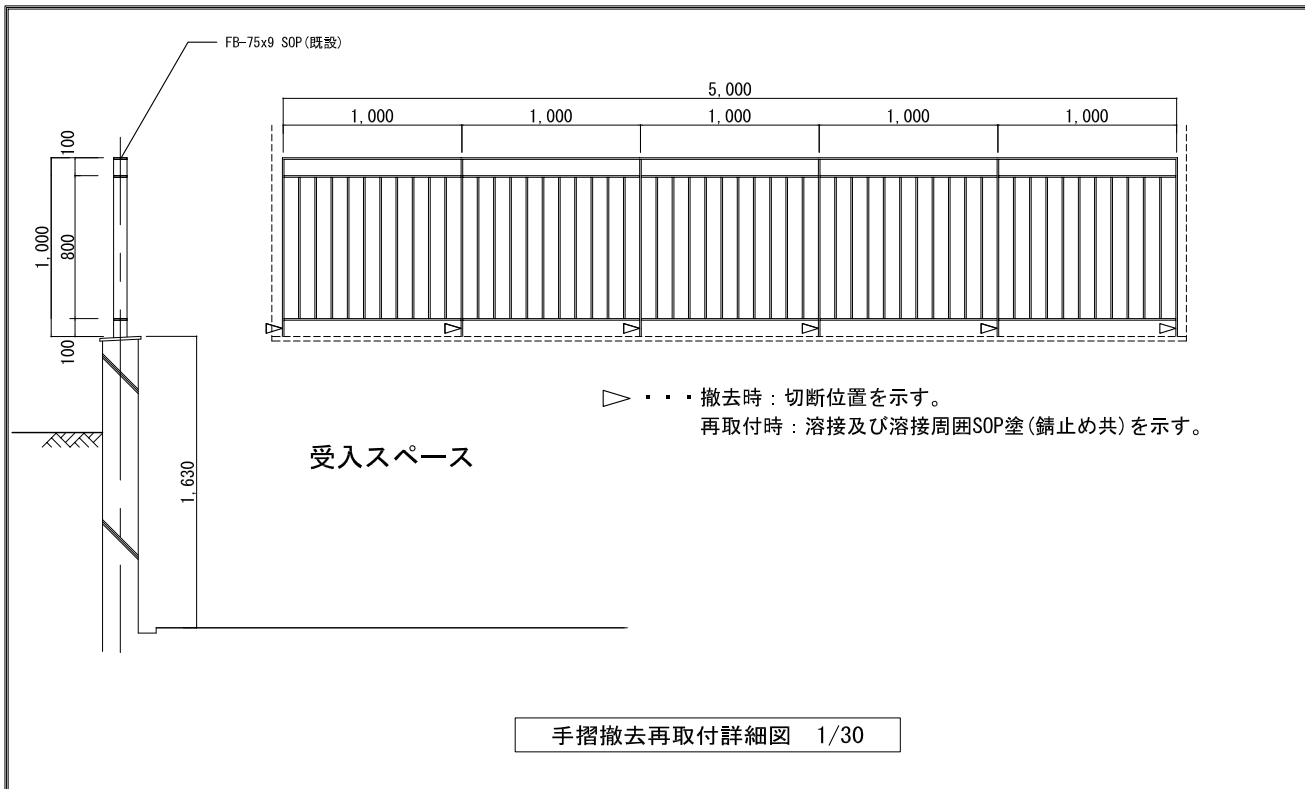
工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
医療センターボイラー改修工事	附近見取図・配置図	A2: 図示	A-05

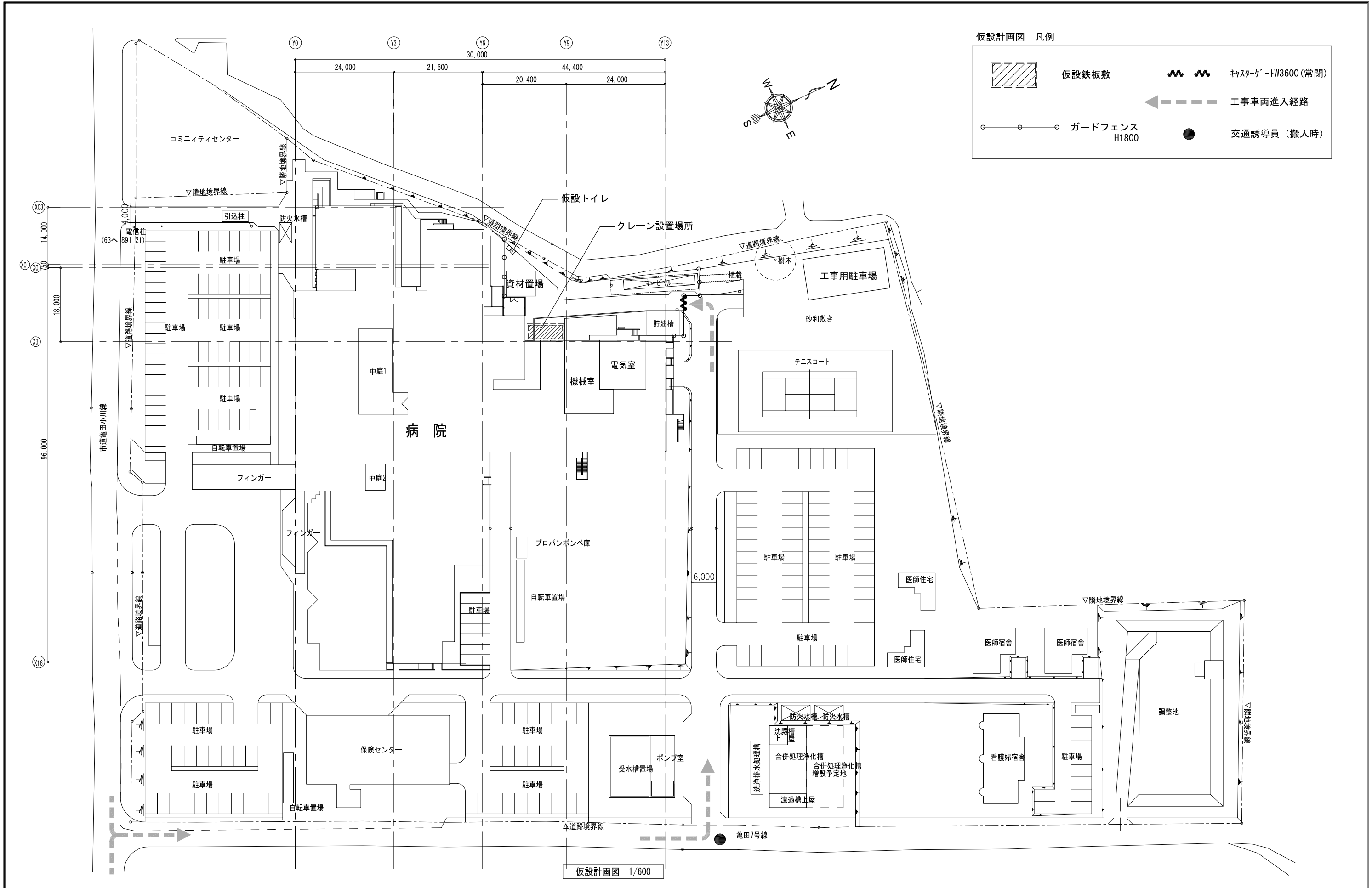


1階平面図 S=1/200

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		医療センターボイラー改修工事	1階平面図	A2 : 1/300	A-06





仮設計画図 凡例

	仮設鉄板敷		キャスターゲートW3600(常閉)
	工事車両進入経路		交通誘導員(搬入時)
	ガードフェンス H1800		

仮設計画図 1/600

<h1>亀山市</h1>	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			医療センターボイラー改修工事	仮設計画図	A2 : 1/600	A-08